

EARTH ECO
MAIL MAGAZINE

アース・エコ メールマガジン

特定非営利活動法人
アース・エコ
メールマガジン No.10-21
2020年2月4日(立春)

アース・エコ会員の皆様と、日頃からアース・エコの活動にご理解、ご支援をいただいている会員外の皆様にアース・エコの活動をお知らせするため、月2回、メールマガジンをお届けしています。

今年の暖冬について専門家からは「北極振動」や「インド洋ダイポール」と呼ばれる地球規模の現象との関連が指摘されています。これらは温暖化が問題になる以前から観測されている現象で、背景に温暖化の影響があるとしても、地球温暖化はこの暖冬の直接の原因ではなさそうです。



コロナウイルスではありません。

かながわ環境学校 葉山町内の小学校

1月21日(火) 葉山町内の小学校で小学校6年生88名を対象に、かながわ環境教室「実験・ゲームで挑戦！地球温暖化防止」の出前授業を行いました。参加した講師・スタッフは8名です。

理科担当の先生とは3年目になります。基本的な授業内容は変えていないので前打ち合わせもスイスイと済みますが、先生からすると多少マンネリ化を感じてきたかも知れません。通常児童に自分ができる省エネ目標を立て、毎日実行したかを一か月省エネカレンダーに記録を付けてもらっています。先生からの要望で、全員が実行しやすいようにとの思いから、2週間での短縮を試みることにしました。結果はどうなるでしょうか。

全クラスとも熱心に授業を聞く姿勢が見られました。クラス毎に大きく雰囲気が変わった感じでした。最初のクラスは非常におとなしく、私の問いかけに分かっていても手をあげない。先生から「このクラスは分かったのか、分からないのか分からないけど、どんどん授業が前に進むのです」と。他の2クラスは元気な子が多いとのことでしたが、先生から「今日は少々固まっているようだ」とのことでした。それでも最後のクラスには地球温暖化に深い知識を持って積極的に答えてくれた児童もいました。

全員のアンケートに目を通すと多くの児童が地球温暖化に強い関心を示し、自分にできる省エネに取り組んでいくのだとの思いが伝わってきました。

アンケートより「家ではLEDを使っています。今日の手回し発電機の実験でLEDが、あんなに少しの力で電気がつくなんておどろきでした。親せきや友達に今日習ったことを教えて、それがどんどん広がって、地球温暖化ストップにつながればいいなと思いました。」広がりを期待したいですね。

アンケートを見させていただき私たちの思いが伝わっているのだと感じさせてもらえた授業でした。

[内田]



地球温暖化について話す筆者



暮らし方の違いさがし



なるほど！体験出前教室 平塚市内の小学校



レモン電池でプロペラ回るかな



備長炭電池で青色 LED が光る

1月22日(水) 平塚市内の小学校で小学6年生59名を対象に、「なるほど！体験出前教室～身近にある材料を使って電池を作ってみよう～」を開催しました。参加した講師・スタッフは7名です。

教室は、午前の部(3-4時限)と午後の部(5-6時限)の2回に分けて各6班構成で行いました。

最初に、ボルタの電池の発明者と乾電池の発明者を三択で当てるクイズふたつ。グー・チョキ・パーで一斉に挙手。正解が多かったのはおみごと。乾電池は日本人(屋井先蔵氏)の発明で、昨年は吉野彰氏がリチウムイオン電池の開発でノーベル化学賞を受賞、と電池の開発では日本がトップランナーであることを伝えました。

実験では、まず市販の乾電池を使って電圧を測り、オルゴール、プロペラ、LEDライトを動かすところから始めました。リード線のつなぎ方やプラス・マイナスはどっち？で真剣に実験を開始。最初は苦心していても乗り越えるのは早く、笑顔と笑い声から余裕が出てきたのを感じました。

実験本番では、レモン電池、備長炭電池を作る実験に進みました。レモン電池は1個0.4ボルト、備長炭電池は1個1.0ボルト、と1.5ボルト乾電池のパワーに届きません。つぎに各班の5人が協力して作った5個の電池を繋ぐとオルゴールが元気に鳴り、プロペラも勢いよく回り、赤青LEDライトが輝く。こうなると実験は進み、それぞれお友達どうし知恵と工夫で、いろいろな電池の組み合わせを楽しんでいました。

実験の最後に、人間電池についてやさしく解説。「体の筋肉を動かすこと、考えること、感じることは体の中で電気が働いているからだよ、だから、食べ物の好き嫌いをしないで元気な体と電気を作ってね」と。この話は伝わったかな？

6年生の子どもたちは、電池の実験は初めての経験だったようで、アンケート結果から「とても楽しかった」、「とても不思議だった」と興味を持てたようで嬉しい出前教室でした。

[吉田]

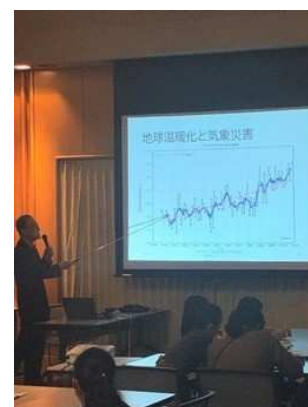
環境教室 相模原市立橋本公民館

1月25日(土) 相模原市立橋本公民館で環境講座「気象現象から考える防災の心得！withソーラーオルゴール作り」を開催しました。橋本公民館からさがみはら地球温暖化対策協議会(温対協)に開催の依頼があり、温対協の団体会員であるアース・エコが開催に協力しました。参加した講師・スタッフは、アース・エコから5名、温対協から5名でした。

今回の講座では2つの新しいチャレンジをおこないました。

一つが講演のテーマ。昨年2つの台風に見舞われ、神奈川県でも多くの被害が出ました。橋本公民館にも避難所が開設され、近年例がないほど多くの方が避難して来られたそうです。温暖化が進むとこのような自然災害のリスクが増すともいわれています。講演のテーマ「気象現象から考える防災の心得」は公民館からの強い要望に沿ったものです。

もう一つのチャレンジは講演の対象者。一番話を聞いてもらいたい



講演中の筆者

は子育て中の若いお父さん・お母さんの世代ですが、それには子どもと一緒に参加できる講座にしなければなりません。今回は会場の一角にキッズコーナーを設け、講演中に飽きてしまった小学校低学年や未就学の子どもが塗り絵や折り紙を楽しめるようにしました。また、親子で楽しめるように講演だけでなく、ソーラーオルゴール工作もセットにしました。

参加者は、保護者を含む大人が20名、小学校高学年が8名、低学年が14名、未就学が7名の合計49名でした。

講演は、初めてのテーマなのでプレゼンのスライドの大部分を新しく作りました。思い切って内容は大人に聞いてもらうことに焦点をあてました。昨年の台風被害の事例紹介、異常気象と気象災害、省エネ、防災マップ、気象情報、停電対策と多岐にわたる内容で、時間も長くなり、少し分りにくかったかも知れません。これを基に、少しポイントを絞り、コンパクトなプレゼンテーションに仕上げたいと思います。

キッズコーナーには講演中に10名ほどの子どもが遊びに来ましたが、保護者からは「落ち着いて講演に集中できた。」との声も聞かれ好評でした。今後も機会があればこの形式を試したいと思います。

講座の後半は、省エネ実験体験とソーラーオルゴール工作を親子一緒に楽しんでもらいました。課題もありましたが、参加者の皆さんには概ね満足していただけたものと思います。

[桑原]



講演中の会場の様子

安藤紘史氏 かながわ地球環境賞を受賞



神奈川県ホームページから

かながわ地球環境賞について、神奈川県ホームページには「神奈川県とかながわ地球環境保全推進会議は、地球環境保全に向けた活動の実績等が顕著であるもの及び温室効果ガスの排出削減やかながわスマートエネルギー計画の推進に寄与したものの功績をたたえるため、毎年、かながわ地球環境賞として表彰をしています。」としています。

1月28日、令和元年度受賞者が発表され、アース・エコの会員でもある安藤紘史氏が地球環境保全活動部門で表彰されました。長年にわたる環境への取り組みの一端が評価されたものと思います。今までの多方面での活躍を多くの方に知っていただく良い機会になったと思います。

今回の表彰の対象となった活動について県のホームページでは「ずしし環境会議、環境学習リーダー会やNPO法人アース・エコの会員として、小中学生を対象とした環境出前講座や市民を対象とした地球温暖化講座を行っている。…(中略)…大学生を講師とした小学校での温暖化出前講座の実施など、若年者への普及啓発を積極的に行っている。」と紹介しており、今回の表彰はずしし環境会議での活動が対象でした。

県ホームページ：<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/cnt/f530926/>

これからの活動予定

- ◇ 2月4日(火) 学校出前授業、横浜市青葉区内の小学校
- ◇ 2月8日(土) 厚木市環境市民学習講座、厚木市役所
- ◇ 2月12日(水) かながわ環境学校⑥、横浜市泉区内の小学校

2月の例会・勉強会

2月5日(水)13:30-16:30
かながわ県民センター会議室

◇ 2月19日(水)、20日(木) かながわ環境学校③、葉山町内の小学校

会員外の皆さんも、例会・勉強会やほとんどの活動を見学することができます。詳しくは事務局にお問合せください。

上記は計画が確定していないものを含みます。詳しくは事務局にお問合せください。 earth.eco.jimukyoku@gmail.com

アース・エコ メールマガジンのバックナンバーは↓からご覧いただけます

<http://www.kiykuwahara.com/page03/page03.html>

地球温暖化やボランティア活動に関心のある方

私たちと一緒に活動しませんか？

アース・エコの活動に参加してみませんか。例会・勉強会の見学も歓迎します。事前にメールでお問い合わせください。⇒ info@npo-earth-eco.com

会員募集中！

アース・エコ

検索



私たちの活動は皆さまからのご寄附で支えられています

アース・エコへの寄附は「よこはま夢ファンド」にお申し込みください。インターネットまたは郵送・ファクス・Eメールでお申込みの際に、支援したい団体に「アース・エコ」をご指定ください。税の優遇措置が受けられます。

⇒ <http://www.archive.city.yokohama.lg.jp/shimin/>

アース・エコは地球温暖化防止活動に取り組むボランティア団体です。

ホームページ <http://www.npo-earth-eco.com>

お問い合わせ、お申込み、メルマガ配信希望・配信中止のご連絡はこちらまで info@npo-earth-eco.com